



1. 庶路学園では、代表生徒が「ファ・イ・タ・ア・ズ」の5文字を使った「あいうえお作文」であいさつをしました。 2. 両選手からサイン色紙やボール、ユニフォームが贈られました。 3. 最後に庶路学園の児童生徒と記念撮影をしました。



4. 白糠学園には茶路小中学校（写真）と白糠養護学校の児童生徒も参加しました。 5. 白糠学園でも代表児童生徒とのキャッチボールや質問コーナー、記念品の贈呈が行われました。各学年ごとに行った記念撮影では、撮影前後のちょっとした時間に、会話やハイタッチをするなどで、交流していました。 6. 白糠学園でも全児童生徒と記念撮影をしました。



11月25日、プロ野球北海道日本ハムファイターズの吉田輝星選手と井口和朋選手が白糠町を訪れ、学校訪問やトークショーを行いました。

両選手の訪問は、同球団の選手が地域振興に協力する「北海道179市町村応援大使」事業の一環です。

この日は、両選手が早朝から道の駅しらぬか恋問を訪れ、特産品のPRやポスターにサインをしました。その後は、庶路学園と白糠学園を訪れ、児童生徒とのキャッチボールや質問コーナー、記念撮影をするなどで交流しました。

午後からは社会福祉センターで町民とのトークショーが行われました。今シーズンを振り返り、井口選手は「新庄監督のもと注目度も上がって、皆さんも期待されていたと思うのですが、最下位という残念な結果となってしまったので、来年は優勝できるように頑張ります。自分もどんどんアピールして、チームに貢献したい」、吉田選手は「初めてリリーフを務め、シーズン

元の秋田と同じように生徒たちが温かくて、親近感がわきました」と話していました。

トークショーの後は、サインボールやサイン入りユニフォームなどが当たるじゃんけん大会や抽選会が行われ、会場は盛り上がりしていました。



を1軍で過ごして分かったことがたくさんありました。今季の経験を来年につなげていきたい」と話していました。

白糠町の印象について井口選手は「昼に食べた海鮮丼とシヤモフライが、おいしかったです」、吉田選手は「地